



2010-11年度 No.10

Weekly Report

RI会長テーマ 地域を育み、大陸をつなぐ
BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

クラブ会長テーマ 明るく、楽しく、元気に、奉仕・親睦

第2017回例会

ガバナー公式訪問
東京国立白うめRCと合同例会日 時: 平成22年9月22日会 場: 例会場司 会: SAA 曽我委員長開会点鐘 三田会長齊 唱 ロータリーソング「奉仕の理想」お客様の紹介 三田会長

辰野 克彦様 (第2750地区 ガバナー)

鈴木 隆志様 (第2750地区幹事)

信山 勝吉様 (多摩中グループ ガバナー補佐)

佐藤 剛様 (多摩中グループ グループ幹事)

朴 順花様 (東京白うめRC米山生)

会長報告 三田会長

●2010環境フェス夕くにたち実行委員会の開催

日 時 9月28日(火) 13時30分

場 所 国立市役所会議室

出席者 遠藤(直)社会奉仕委員長

幹事報告 松本幹事例会変更のお知らせ

東京国分寺RC

10月26日(火) ⇒夜間例会

東京武蔵国分寺RC

10月11日(月) ⇒祝日休会

10月18日(月) ⇒10/19 ガバナー公式訪問に振替

東京昭島中央RC

10月13日(水) ⇒10/14 ガバナー公式訪問に振替

10月20日(水) ⇒10/17 移動例会に振替

10月27日(水) ⇒第1000回例会 記念パーティ



▲辰野ガバナーの卓話

東京昭島RC

10月14日(木) ⇒ガバナー公式訪問

11月11日(木) ⇒親睦旅行に振替

ニコニコBOX

本間親睦活動委員長

●三田会長 辰野克彦ガバナー、信山勝由ガバナー補佐、鈴木隆志地区幹事、佐藤剛グループ幹事ようこそ国立へ。国立クラブ、白うめクラブ両クラブが歓迎いたします。●松本幹事 辰野ガバナー、地区幹事鈴木様、信山ガバナー補佐、グループ幹事佐藤様、お世話になり、又御指導下さいますようお願い致します。●小澤孝造会員・高世会員・井上会員 辰野ガバナーを初め皆様の御来訪を心よりご歓迎申し上げます。すばらしい卓話を楽しみにしております。●津戸会員 辰野ガバナーの公式訪問を心よりご歓迎申し上げます。●山口会員 辰野ガバナー、鈴木地区幹事、ようこそ国立にお出で下さいました。●吉野会員 地区辰野克彦ガバナー・鈴木隆志地区幹

R.I. 第2750地区 多摩中グループ

東京国立ロータリークラブ

例会日: 毎週水曜日 例会場: 谷保天満宮社務所2階

事務所: 東京都国立市中1-9-36 KKビル4F

E-mail: kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp

会報委員: 岡本貞雄 佐藤勝則 大塚清一郎

会長: 三田 浩一 幹事: 松本 保夫

東京都国立市谷保 5209 TEL042-576-5123

TEL: 042-575-0770 FAX: 042-572-8666

URL: http://www15.ocn.ne.jp/~kuni-rc

事、多摩中信山ガバナー補佐・佐藤グループ幹事のガバナー公式訪問を歓迎いたします。

●**杉田会員** 辰野ガバナー、鈴木地区幹事のご来訪を歓迎致します。

●**三田賢司会員** 辰野ガバナー、信山ガバナー補佐、佐藤グループ幹事、鈴木地区幹事、御来訪歓迎致します。今後の御活躍期待しております。

●**村上会員・岡本貞雄会員・秋廣会員** 辰野ガバナー、鈴木地区幹事、多摩中信山ガバナー補佐、佐藤グループ幹事の「ガバナー公式訪問」を歓迎しニコニコいたします。

●**池田会員** 猛暑の中、ガバナーご訪問を有難くお迎え申し上げます。

●**親睦活動委員会(本間会員・木島会員・小澤崇文会員・伊藤達弥会員・北島会員)** 辰野ガバナーの公式。

訪問を心よりご歓迎申し上げます●**社会奉仕委員会(遠藤直孝会員・小川会員・柴田会員・荘原会員)** 辰野克彦ガバナー、信山勝由ガバナー補佐、鈴木隆志地区幹事、佐藤剛グループ幹事、ご来訪ありがとうございます。今後もご指導の程よろしくお願ひいたします。

●**SAA 委員会(曾我会員・五十嵐会員・遠藤常臣会員)** 辰野克彦ガバナー、役員の皆様のご来訪を心より歓迎申し上げます。久々の合同例会楽しみにしております。

出席報告

近藤出席委員長

9月22日 在籍50名中 出席44名

前々回(9月8日)の出席率 100%

閉会点鐘

三田会長

卓話

第2750地区

辰野克彦ガバナー



■国際ロータリー会長について

2012-13年国際ロータリー会長に、R I 第2770地区埼玉県八潮市ご出身の田中作次様がノミネートされました。この10月1日に確定いたしますが、日本人のR I 会長としては1968-69年東ヶ崎潔様、1982-83年向笠広次(ムサカヒロジ)様に続き3人目、実に30年振りのRI会長であります。田中作次様は、R I 理事 ロータリー財団トラスティー等要職を勤められ、昨年のバーニンガムにおける国際大会の大会委員長という大役も勤められた方であります。今、ロータリアンは世界に123万人で今世紀になりあまり変わらぬが、実は国別に見ますと、この10年間で日本は12万3千名が9万名と3割減、インドは7万2000名から11万名と5割増であります。来年がインドのバナージー会長、再来年が日本の田中会長と、面白い組み合わせであります。日本のロータリーの活性化、如いては会員減少傾向の歯止めと増加への道筋も、世界のロータリーから大いに期待されているものと思われます。

■地区 運営方針と強調事項

地区運営方針は①クラブ中心、地区はクラブの支援②地区の簡素化を掲げました。言うほどにそうはないのではないかと思われる方もおられるかもし

れませんが、私としましては常にこのことを念頭に置き、ガバナーとしての日常多々あります地区としての決定をしているつもりでございます。

地区強調事項は①クラブにおける長期計画の立案と推進 ②クラブ合同奉仕プロジェクトの実行支援といったしました。長期計画は、殆どのクラブで取組みをはじめていただいているようにありますし、クラブ合同奉仕プロジェクトは、10プロジェクト近くが立ち上がっており、順調に滑り出しを見せております。これからも、私は勿論、地区チーム皆で、クラブの活動のバックアップをさせていただきますので、何なりとお申し出いただければと思います。

■R I ・地区とクラブ

国際ロータリー或いは地区からいろいろな注文・要請が来る。勘弁して欲しい、クラブ中心といいながらやれ資金を出せ、やれ会合に参加しろと言ってくる、忙しいのに出来ないという声を聞くことがあります。このことに関して、私の考えを伝えます。

国際ロータリー一定款・国際ロータリー細則・標準ロータリークラブ定款、これら3つを組織規定といいますが、これらに決められていることは、ロータリークラブである以上守ってもらわなければなりません。国際

ロータリー定款には目的、四大奉仕を表す綱領、会員の資格、RI理事会、国際大会、規定審議会、人頭分担金のこと等が記されています。国際ロータリー細則には、新クラブの加盟、クラブの合併、メークアップ、RI理事会、国際大会、規定審議会についての細則、ガバナーの選出方法、PETS、地区協議会、地区大会のこと等が書かれています。標準ロータリー・クラブ定款については、クラブの名称、クラブの所在地域、四大奉仕部門、職業分類、出席規定、理事・役員のこと等が記されています。これら組織規定に書かれていることは守る義務があります。詳しくは、ロータリーのバイブルとも言われています手続要覧をお読みいただきたいと思いますが、それ以外はクラブの自由であります。

しかしながら、それら守るべきもの以外のことでは地区からクラブにお願いすることは、国際ロータリーがクラブに対し、要望あるいは推奨することを国際ロータリーに代わり地区がクラブにお願いすることと、地区として、日本国内34地区のガバナーで構成されていますガバナーハーの決議を伝えること、またガバナー自身の考えを伝えることがあります。R I のこと、ガバナーハーのこと、ガバナーとして各クラブに伝える義務がありますし、そして皆様には、ロータリークラブである以上その話は聞いていただきなければなりません。その上でそれを受入・実行するかどうかを、クラブとして、あるいはロータリアンとして十分に考えて頂き、お決めいただくものであります。勿論、いずれの場合も、私は誠意をもって話すつもりですし、お願いする側としましては、聞き入れていただければ大変ありがたいことですが、あくまでも決定はクラブ、そしてロータリアンご自身にあります。

話がそれますが、今年の4月の規定審議会で、ロータリーの四大奉仕に新世代奉仕が加わり、五大奉仕になったことをご存知の方は大勢いらっしゃると思います。そう変わったのに私が何回か四大奉仕といっているが、おかしいのではないかと思われるかもしれません。別に間違ってはおりません。規定審議会で決まりましたことは、ロータリークラブ定款にある四大奉仕を五大奉仕にすることでありまして、3分の2の表決が必要な国際ロータリー定款の変更には至っておりません。国際ロータリー定款にある四大奉仕を表す綱領は変わっておりませんので、定款上は四大奉仕であります。

■長期計画について

機知に富んだ名言・警句を発することで有名なイギリスの作家、バーナード・ショウが「ロータリアンは

何処へ行く、彼等は昼飯を食べに行く」といったと言われています。彼は皮肉っぽく言ったのでしょうか、これを聞いたロータリアンはどう感じられるでしょうか。何も昼飯を食べに行っているだけではありません。では何処に行くのでしょうか。思いつくままに言いますと、(1) 地域社会が評価する奉仕活動を行い、ロータリーの名声を上げ、その結果会員増加につなげ、次は、もう一回り大きな奉仕活動に取り組み、好循環を続けよう。(2) あまり対外奉仕活動は取り組めないが、高レベルの会員を集め、ロータリー財団・米山にはしっかり寄付をし、世に貢献しよう。(3) 年会費も下げ、現職で若い人たちが中心のクラブとし、忙しいので出席義務は緩やかにし、昼だけでなく、朝、夜、土曜日の例会も取り入れる。(4) 国際ロータリーの世界に広がるネットワークを生かし、国際平和に繋がる奉仕活動に重点をおくようにする。(5) 1週間毎に例会で顔を合わし、お互い仕事も体調も順調であることを確かめあう。もし、順調でなかったら、力になり合う。いろいろあろうかと思いますが、それぞれのクラブに於いて柱となる考え方を絞っていくのが、長期計画であると思うであります。

ロータリーは単年度制であり、長期計画はなじまないという意見も耳にいたします。役員は単年度制であり、1年間を任せられた役員は、それぞれ職業を持ち忙しい中、出来る限りのことをしてクラブを引っ張っていかれます。大きく言って、会員増強など組織維持に関する事と、本年度のR I テーマ「地域を育み、大陸を繋ぐ」に現されています対外奉仕の2つありますが、職を持つ中、ボランタリーに、クラブの組織維持と、よき世になるために出来ることをしようと会長・幹事はじめクラブ役員の皆様は考えられていると思うであります。

私が申し上げたいのは、そこで考えられたことが、担当する1年間のことだけでなく、「クラブのより善き将来の為の布石となって行くようにしよう」ということがあります。役員といつても中心は会長です。会長は、直前会長、次期会長とご一緒に、自分のクラブが出来ること、すべきことを考え、方向性を決めていただければと思うであります。それが長期計画の一つの軸です。

その上でもう一つ必要なのは会員への広がりです。会長とかの役員ということでなく、クラブ全会員で、クラブの進むべき道を議論していただきたいと思います。三代の会長あるいはクラブの長期計画委員会で練られた計画案を会員全員に示し、自由な討議と共通の理解が出来る場、例えば長期計画をテーマとする

クラブ協議会などを開くことだと思います。一つの軸、一つの広がりにより長期計画は成り立って行きます。役員は単年度制であっても、ロータリークラブは永遠です。ロータリークラブはボランタリーでありますので、政府における官僚組織のように専従で計画を練るようなところはありません。会長がそして会員が出来る限り知恵を出し合い、組織の存続と発展を願つて一つの方向性を確認し合つておく、それが長期計画であります。

国際ロータリーには長期計画委員会では、ロータリーのコアバリュー、5つの中核となる価値観、①奉仕②親睦③多様性④高潔性⑤リーダーシップがありますが、この上に3つの柱

Strong Club—クラブが力を付けること●クラブの刷新性と柔軟性を育てる●四大奉仕部門の全部門における調和のとれた活動●会員の勧誘と維持を改善する。

Effective Service—効果的な奉仕活動をすること●ポリオ撲滅●青少年及び青年プログラムとロータリー財団の6つの重点分野の推進●他組織との協力関係を拡大。

Recognized Brand—ロータリーブランドを高めること●行動を主体とした奉仕を推進●中核となる価値観を推進●職業奉仕の理想を強調。

この3つの柱を建てる事であります。これらの事項もよく研究し、参考にしていただき、クラブとして、将来を見据え、十分議論のうえ、長期計画の作成に取り組んでいただきたいと思います。

■ポリオ撲滅について

6月にモントリオールで開かれた国際大会で、WHO世界保健機構のブルス・イルワード博士のお話は印象的でした。博士はポリオ撲滅に取り組む世界中の組織の総指揮をとつておられる方ですが、「ジョン・ケニーRI会長から、20000人の国際大会参加者にポリオの現状を話して欲しいと頼まれたが、ポリオに関し悪い話もよい話もなにもない。…あるのは、素晴らしい話である」と切り出され、拍手喝采のなか話されました。今ポリオが残っている4カ国、アフガニスタン、パキスタン、インド、ナイジェリアの中でも、インドではこの6ヶ月間1例の発症もない、ナイジェリアでも昨年の半年で300あった発症例が今年になって3つのみとなり、1年で99%削減されたという事です。25年前、1985年ロータリーがポリオ撲滅運動を始めたときには、ポリオ感染者がいる国は125カ国で、年間35万件感染していた状態から、ここまで

来たことに象徴されるロータリーの力の素晴らしさについて、博士は「15年前に夢見たことが現実になった」と表現されました。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の共同委員長、ビル・ゲイツ・シニア氏がご自身の著書のなかで言っておられます。「20年以上前、身近な問題に取り組んでいたボランティア活動がほとんどの時代に、ロータリーは全世界でポリオを撲滅するという誰もが不可能と思うような、グローバルな取り組みを始めました。以来、ロータリーは普通の人々が世界を劇的に変えられるのだと、私たちの思考にも革新をもたらしました。」現在、ビルゲイツ財団から3億5500万ドルという莫大な資金協力を得、世界のロータリアンで2012年6月までに2億ドルを集めることにしておりますが、「ロータリーの超我の奉仕が世界の歴史を変える、ポリオ撲滅は近い」状態であります。このことは、正に1年ごとに体制が変わるロータリーが長期的視野で、成し遂げてきている具体のことと、私も改めて深く感じ入った次第であります。このような長期計画の下で皆様と一緒に力を合わせて、「完全撲滅」という歴史的瞬間を迎えたものと思っております。

■最後に

国際ロータリーの長期計画の3本柱の一つはStrong Club「クラブが力を付けよう」でありますが、これはBigでGoodでBoldなClubのことです。強いクラブとは、大きく、豊かで、大胆なクラブのことです。ソーフィンソンRI理事は言っておられます。Big大きいということは、単に会員数が多いことだけではなく、地域ビジネスの分布を調べるなどをして、会員を勧誘し、優れた活動を行うことを意味しています。Good豊かであるということは、ロータリーの四大奉仕部門における活動をバランスよく実施し、優れた長期計画と指導力育成の手段も備え、ロータリーの中核となる価値観を具体化できているクラブを意味します。Bold大胆ということは、地域の抱える問題を解決するための行動を起こし、その活動によって、地域の人々に認知されるような柔軟で、革新的な行動を起こすクラブのことを意味しますといわれています。

先程申し上げたような意味でのしっかりした長期計画の上に、Bold—大胆な変革にも挑戦いただき、一層Strongなクラブへの発展を念願いたします。ガバナー公式訪問に際しまして東京国立RCの皆様、そして東京国立白うめRCの皆様に、Bigger Better Bolder、より大きく、豊かで、大胆なクラブを目指していただきたい、そう申し上げまして、卓話とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。